

C

9

高岡銅器団地協同組合

地理的優位性と集団化の強みを活かした「産業観光」への取組み

住 所	(〒939-1118) 富山県高岡市戸出栄町 43 番 1		
電 話 番 号	0766-63-5005	U R L	http:// douki.jp/
設 立	昭和 52 年 1 月	出 資 金	36,020 千円
主 な 業 種	金属製品製造業	組 合 員 数	30 人

背景と目的

高岡銅器を取り巻く環境が厳しくなっているなか、一部の組合員において新たな展開を模索する動きの活発化がみられ、新商品開発にあわせて生産工程を PR する企業も増加してきている。そのようななか、組合として産業観光に取り組むことにより、高岡銅器の認知度の向上を図るとともに、技術力を PR していくことによりビジネスチャンスの拡大を図っている。

事業・活動の内容と手法

当組合では、北陸新幹線の新高岡駅に近い団地という立地条件を活かして交流人口を増加させ銅器産業の発展につなげていくことを狙い、旅行代理店の JTB と連携し、産業観光の誘致に乗り出した。団体旅行向けに铸造現場などを見学するツアーを受け入れ、PR を行っている。

当初は、組合員のうち 8 社が観光客を受け入れる企業として参加し、ものづくりの魅力を再発見する旅とし、「溶けた金属を铸造に流し込む工程」などが見学できるように 1～2 社をめぐるコース等を設定した。JTB は、団体・グループ旅行を対象に、ツアー商品「地恵のたび」を企画しており、全国の支店に合計 35,000 部配布するパンフレットに「銅器の町 高岡」を訪ねるコースを掲載した。

当組合が実施主体となることにより、これまで各組合員が個別で対応していたため見学内容が一部の工程に限定されるなどしていたものが、見学者に様々な工程をワンストップで見せることが可能になり、見学ツアーの魅力が大きく向上させることができていた。また、集客面において JTB と連携することにより、遠方の顧客に広く PR することが可能になり、PR 力においても大きく向上することができた。さらに、組合員にとっても、受入事務や調整事項が大幅に軽減されることと、自社の魅力を発信できる機会を増加させることができていた。

成 果

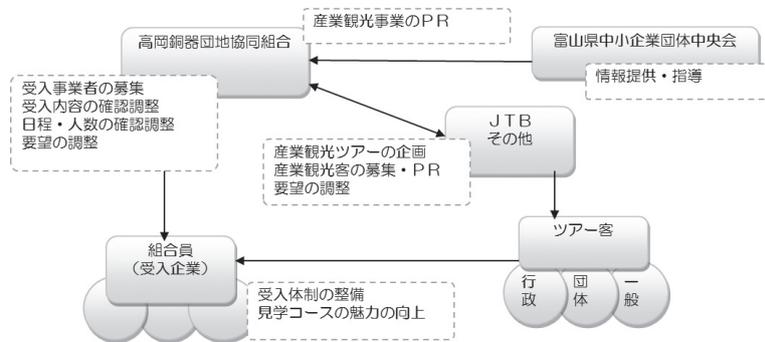
既に 300 人程度の観光客が訪れており、順調に産業観光客の誘致数が推移している。また、組合内においても取組みへの理解が深まったことで受入企業も 12 社に増加し、期待が高まり始めている。組合員においても自社の魅力を発信できる機会の増加に加え、従業員の意識も引き締まりモチベーションの向上にもつながっている効果も出ている。



溶けた金属を铸造に流し込む工程



研磨作業工程



事業・活動推進のキーファクター

組合における産業観光客受入れの共同化により、大手旅行代理店との連携による広告宣伝・PRの推進が図られるとともに、点在するPR素材の一体的PRによる魅力向上、組合員における共通目標の醸成や主体性の向上もみられるなど、多くの相乗効果を創出している。

A 地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

B 地域産業を担う人材の確保・育成

C 組合事業による新たな展開